



暮らしを応援する政治に!

物価高騰が続く中、家計が厳しい状況が続いており、市民生活を支える継続的な物価高騰対策とともに、子育て支援策の充実や若者支援対策、高齢者が元気に活動できるまちづくりへの予算拡充が求められています。

政府の経済対策に盛り込まれた「重点支援地方交付金」を活用して暮らしを支える支援を行うことが必要です。中小事業者が最低賃金を引き上げるための支援に取り組むことや国民健康保険料や公共料金の引き下げに取り組むべきです。

高齢者等が100円でバスに乗れる制度

請願 「おでかけ応援制度」をつくるよう求める請願

お金の心配をしないで気軽にバスに乗れる制度をつくり、高齢者の移動を支援することが必要です。千葉市では民間事業者による運賃割引制度や年間パスポートの発行をすでに実施しており、市としての実施に消極的です。しかし、運賃割引制度は2年間の期間限定、年間パスポートは3万円もかかります。100円で気軽にバスに乗れる恒常的な支援があることで高齢者の外出を後押しすることにつながるのではないのでしょうか。



他会派は「高齢者福祉の取り組みがされていること」や「高齢者への支援よりも減便に対する支援が大切」などの理由で不採択となりました。

反対 市長や市議会議員の期末手当を引き上げる条例

議員の期末手当を4.5か月→4.6か月に0.1か月引き上げ! 市長の期末手当も15万円増額!

昨年も0.1か月引き上げをし、今年も0.1か月引き上げようとしています。市長については約15万円増の年額約727万円となります。物価高騰の中で市民生活が厳しく、政治と金の問題が大きな批判を浴びている



なか、税金の使い方が問われています。市長や市議会議員の期末手当を引き上げることは、市民感覚に照らしてもずれています。引き上げるより市民本位に暮らしを応援するために活用すべきと求めました。

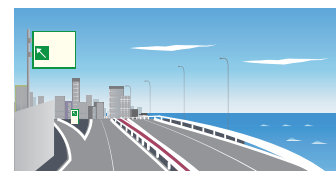
保育料第2子無償化を要求!



子育て家庭の負担軽減を図ることは少子化対策にも有効だと考えます。幼児教育無償化の対象になっていない3歳未満児の保育料の負担軽減を図るため、千葉市も他市に学び、保育料の第2子無償化を実施すべきと強く求めました。

新湾岸道路整備は中止を!

事業費も自治体の負担割合も明らかになっていない中で、千葉市財政にも多大な影響を与える新湾岸道路はやめるべきです。



実現 千葉市斎場 火葬待ち時間の短縮に期待!

今回、新たに選定された指定管理者は、これまで会派が要望していた友引開場の実施や、正社員を30人にするなどを提案しており、火葬供給能力の拡大が期待されます。しかし、平均6日間の火葬待ちは改善されません。増設や新斎場建設が間に合わないのであれば、開場時間を8時30分～17時30分に拡げ、火葬件数を増やすよう提案しました。



陳情 新千葉市民会館建設に関する陳情

陳情では市役所の将来活用予定地での整備や諸室の増設等を求めています。市側は陳情を受け止め、市民本位で市民が利用しやすい施設となるよう市民参加を進めていくこと、市民のよりどころとなる施設となるよう求め、党市議団は賛成しました。



(○=賛成 ×=反対)

陳情名	共産党	立憲民主 無所属	自民党	公明党	無所属 (櫻井崇)
新千葉市民会館建設に関する陳情 (提出:新千葉市民会館をつくる会)	○	×	×	×	×

(環境経済委員会にて審議)